

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(秋)はアーモンドアイが優勝

11月1日(日)に行われた天皇賞(秋)(G I)ではアーモンドアイ(牝5歳/美浦・国枝栄厩舎)が昨年に続き勝利、同レース連覇を果たしました。アーモンドアイは、二度の天皇賞(秋)に加えて桜花賞、優駿牝馬(オークス)、秋華賞、ジャパンカップ、ドバイターフ、ヴィクトリアマイルを制しており、国内外の芝G I/G 1で8勝目。ダートのG I/Jpn Iではコパノリッキーが11勝、ホッコータルマエが10勝、ヴァーミリアンとエスポワールシチーが9勝をあげていますが、芝ではキタサンブラックらの7勝を更新する史上最多勝となります。またクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は同レース3連覇。これは保田隆芳元騎手(1949年～1951年)以来、69年ぶり史上2人目の記録となります。

●重賞ウィナー4頭の競走馬登録抹消

2019年デイリー杯2歳S(G II)の勝ち馬レッドベルジュール(牡3歳/栗東・藤原英昭厩舎/JRA通算3戦2勝)、2017年兵庫チャンピオンシップ(園田・Jpn II)の勝ち馬タガノディグオ(牡6歳/栗東・宮徹厩舎/JRA通算26戦3勝・地方4戦1勝)、2019年関東オークス(川崎・Jpn II)の勝ち馬ラインカーナ(牝4歳/美浦・武藤善則厩舎/JRA通算11戦2勝・地方6戦1勝)、2019年新潟2歳S(G III)の勝ち馬ウーマンズハート(牝3歳/栗東・西浦勝一厩舎/JRA通算8戦2勝)は、10月22日(木)までに競走馬登録を抹消されました。レッドベルジュールは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬、ウーマンズハートは北海道日高町のダーレー・ジャパン・ファームで繁殖馬となり、タガノディグオは地方・園田競馬、ラインカーナは地方・浦和競馬に移籍する予定です。

●岡部幸雄氏と中村均氏が旭日小綬章を受章

令和2年秋の叙勲において、元騎手で日本騎手クラブ会長も務めた岡部幸雄氏と、元調教師で日本調教師会会長を務めた中村均氏が旭日小綬章が授与されることとなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JBCはクリソベルル、サブジュニア、ファッシュニスタ

JBCクラシック(Jpn I、11月3日、大井、2000m)は、3番手を進んだクリソベルル(川田将雅騎手、牡4歳、父ゴールドアリュール)が残り200mで抜け出し、単勝1.3倍の支持に応えました。2番人気のオメガパフュームが2着、3番人気のチュウワウィザードが3着に入り、逃げたダノンファラオは5着、デルマルーヴルは6着、ロードレガリスは7着、サクラアリュールは8着でした。

JBCスプリント(Jpn I、11月3日、大井、1200m)は、中団から追い上げた8番人気の大井所属馬サブジュニア(矢野貴之騎手、牡6歳、父サウスヴィグラス)がゴール前で差し切り勝ち。マテラスカイが2着、逃げたモズスーパーフレアは4着、2番人気のコパノキッキングは6着、1番人気のジャスティンは中団のまま見せ場なく8着、サクセスエナジーは10着、ミスターメロディは12着、ヒロシゲゴールドは最下位の16着に敗れています。

JBCレディースクラシック(Jpn I、11月3日、大井、1800m)は、2番手から直線に入って間もなく先頭に立った2番人気のファッシュニスタ(北村友一騎手、牝6歳、父ストリートセンス)が、内から並びかけた3番人気のマドラスチェックにアタマ差競り勝ちました。単勝1.3倍で圧倒的人気のマルシュロレーヌは3着に敗退、レーヌブランシュは5着、プリンシアコメータは6着、シネマソングスは8着、ローザノワールは11着に終わっています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1メルボルンC～トワイライトペイメントが逃げ切る

11月3日にオーストラリアのフレミントン競馬場で行われたG1メルボルンC(3歳上、芝3200m)はアイルランドから遠征したトワイライトペイメント(騾7歳=現地年齢表記8歳、父テオフィロ)が逃げ切り勝ち。2着には同じくアイルランドからの遠征馬タイガーマス、3着にはイギリスのプリンスオブアランが入って、欧州調教師馬が1～3着を占めました。25歳の鞍上J.マクニール騎手はこのレース初騎乗で初制覇、管理するJ.オブライエン調教師(27歳)は2017年のリキンドリングに続く2勝目です。

●ゴールデンイーグル～コレットが鮮やかに差し切る

今年で2回目を迎えた4歳馬限定の高額賞金レース(総賞金750万豪ドル=約5億7182万円/1ドル76円で換算)であるゴールデンイーグル(重賞格付けなし、芝1500m)が10月31日にオーストラリアのローズヒル競馬場で行われ、K.ジェニングス騎手を背に直線で大外から鋭く伸びたコレット(牝、父ハロウドクラウン、J.カミングス厩舎)が差し切り勝ちを収めました。コレットは昨シーズンのG1・ATCオークス(芝2400m)の勝ち馬です。なお、このレースの賞金の10%は、各オーナーが指定するチャリティーに寄付されることになっています。